

2013年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2012年12月7日

上場会社名 マックスバリュ北海道株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7465 URL <http://www.mv-hokkaido.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 出戸 信成  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名) 平田 炎 TEL (011)631-5192  
 四半期報告書提出予定日 2012年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2013年2月期第3四半期の業績(2012年2月1日~2012年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期第3四半期	61,983	3.6	221	11.9	261	31.5	84	—
2012年1月期第3四半期	59,816	4.2	198	—	198	—	△284	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年2月期第3四半期	12.43	12.41
2012年1月期第3四半期	△41.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年2月期第3四半期	24,574	6,622	26.9
2012年1月期	23,468	6,578	28.0

(参考) 自己資本 2013年2月期第3四半期 6,608百万円 2012年1月期 6,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2012年1月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2013年2月期	—	0.00	—	—	—
2013年2月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2013年2月期の業績予想(2012年2月1日~2013年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	—	880	—	880	—	180	—	26.36

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2013年2月期は、決算期変更に伴い13ヶ月の変則決算となるため、通期業績予想は13ヶ月間の予想数値を記載しており、対前期増減率については記載しておりません。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2013年2月期3Q	6,941,350株	2012年1月期	6,941,350株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2013年2月期3Q	105,211株	2012年1月期	112,944株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2013年2月期3Q	6,833,432株	2012年1月期3Q	6,828,406株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における北海道地域の経済は一部に持ち直しの動きが見られるものの、電力供給の制約、欧州債務危機を背景とした円高等の影響、国内外の政治経済の動向などにより、不安定な状況で推移しました。

当社の属するスーパーマーケット業界では、雇用不安や所得の伸び悩む中、お客さまの節約志向は強く、業種・業態を越えた競争の激化も相まって厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は「次代を見据えた 変革への挑戦」のスローガンを掲げ、商圈シェアの拡大に取り組んでまいりました。当第3四半期累計期間においては、新規店舗1店舗の出店と9店舗の活性化、5店舗の業態転換を行いました。

新規店舗の開設では、新たなフォーマットとして、都市部の人口集中地区におけるコンパクトサイズの店舗で、毎日の食生活に欠かせない商品を、より便利に安心して、ショートタイムでお買い物できる店舗を目指し8月「マックスバリュエクスプレス中の島店(札幌市)」を開店いたしました。

店舗活性化では、9店舗のうち特にシニアマーケットに対応した品揃えや売場づくりの見直しをコンセプトに、3月「マックスバリュ手宮店(小樽市)」、4月「マックスバリュ静内店(新ひだか町)」、6月「マックスバリュ留萌店(留萌市)」の3店舗を改装致しました。具体的には、生鮮各部門での小容量商品の充実、惣菜売場での品揃えの拡充、地場商材の導入、店内表示物関連の大型化などに取り組みました。

業態転換では、第2四半期累計期間の3店舗に加えて、8月「マックスバリュ宮前通店(旭川市)」を「ザ・ビッグ宮前通店」に、10月「マックスバリュ東雁来店(札幌市)」を「ザ・ビッグ東雁来店」にディスカウント業態へと転換致しました。

また、お客さまの節電意識や早朝型ライフスタイルへの関心の高まりから6月1日より早朝7時開店を順次開始し、10月末現在24時間営業店舗を含め63店舗で早朝営業に取り組み、多くのお客さまよりご支持いただいております。さらにイオンのブランド「トップバリュ」の品揃えをより一層充実し、具体的には夏用のインナー“クーリッシュファクト”を中心とした衣料品の導入拡大や、毎月月初めに開催している「トップバリュ週間」での販売強化、生鮮・デリカ部門における取扱品目の拡大等によりトップバリュの売上高が、前年同四半期比122.0%となりました。またイオンの電子マネーWAONの会員さま拡大による固定客づくりに努め客数の増加を図ってまいりました。経費面におきましては、節電対策として店内外の照明の一部消灯や24店舗でのLED化による使用電力の削減等に取り組みました。

これらの取り組みにより、第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比103.7%、客数は102.2%、客単価は101.4%となり、売上高に対する経費率は前年同四半期に対して0.5%の改善となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益619億83百万円(前年同四半期比103.6%)営業利益2億21百万円(前年同四半期比111.9%)、経常利益2億61百万円(前年同四半期比131.5%)、四半期純利益84百万円(前年同四半期は四半期純損失2億84百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ0.8%減少し、71億18百万円となりました。これは、繰延税金資産が92百万円増加したものの、商品が1億50百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7.1%増加し、174億55百万円となりました。これは、敷金が5億81百万円減少したものの、土地が18億18百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ4.7%増加し、245億74百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ6.1%増加し、129億36百万円となりました。これは、流動負債その他に含まれる未払費用が3億11百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億35百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6.8%増加し、50億15百万円となりました。これは、長期借入金が5億93百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ6.3%増加し、179億52百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ0.7%増加し、66億22百万円となりました。これは、利益剰余金が47百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の業績予想につきましては、2012年3月14日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2012年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,181	1,109,626
売掛金	224,430	236,468
商品	2,070,676	1,919,838
貯蔵品	27,131	23,924
繰延税金資産	184,063	276,065
未収入金	2,959,502	2,939,299
その他	681,281	641,688
貸倒引当金	△30,087	△28,216
流動資産合計	7,173,180	7,118,694
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,864,642	4,977,336
土地	2,985,030	4,803,590
その他(純額)	1,024,056	1,042,344
有形固定資産合計	8,873,729	10,823,272
無形固定資産	37,275	30,443
投資その他の資産		
投資有価証券	134,947	116,896
繰延税金資産	1,117,599	1,198,532
敷金	3,676,279	3,094,690
建設協力金	2,196,960	1,937,430
その他	466,771	441,404
貸倒引当金	△208,485	△187,093
投資その他の資産合計	7,384,073	6,601,860
固定資産合計	16,295,077	17,455,575
資産合計	23,468,258	24,574,270

(単位:千円)

	前事業年度 (2012年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2012年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,795,699	6,854,925
1年内返済予定の長期借入金	2,093,118	2,328,656
未払法人税等	170,415	232,549
引当金	36,220	27,129
設備関係支払手形	58,657	100,242
その他	3,039,865	3,393,110
流動負債合計	12,193,975	12,936,612
固定負債		
長期借入金	3,154,288	3,747,552
資産除去債務	498,282	484,968
その他	1,043,038	783,123
固定負債合計	4,695,609	5,015,644
負債合計	16,889,585	17,952,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,176,445	1,176,445
資本剰余金	1,206,839	1,206,839
利益剰余金	4,400,841	4,448,797
自己株式	△194,690	△181,340
株主資本合計	6,589,434	6,650,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,027	△42,078
評価・換算差額等合計	△24,027	△42,078
新株予約権	13,266	13,351
純資産合計	6,578,673	6,622,013
負債純資産合計	23,468,258	24,574,270

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	58,790,483	60,962,793
売上原価	45,447,962	47,396,203
売上総利益	13,342,520	13,566,590
その他の営業収入	1,026,061	1,020,949
営業総利益	14,368,582	14,587,539
販売費及び一般管理費	14,170,318	14,365,617
営業利益	198,264	221,921
営業外収益		
受取利息	29,213	24,297
貸倒引当金戻入額	—	21,621
リサイクル材売却収入	12,506	19,409
その他	22,321	25,723
営業外収益合計	64,041	91,051
営業外費用		
支払利息	55,724	47,986
その他	8,078	3,922
営業外費用合計	63,803	51,908
経常利益	198,502	261,064
特別利益		
貸倒引当金戻入額	22,285	—
資産除去債務戻入額	—	16,728
特別利益合計	22,285	16,728
特別損失		
固定資産除却損	13,337	17,447
減損損失	41,969	36,825
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	301,314	—
その他	13,555	12,688
特別損失合計	370,177	66,962
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△149,389	210,831
法人税、住民税及び事業税	34,473	298,859
法人税等調整額	100,159	△172,934
法人税等合計	134,632	125,924
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△284,022	84,906

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。